



くちびるはなぜ赤いの^{あか}

くちびるは血の色がすけて見える^{ち いろ み}

くちびるが赤いのは、人間のくちょうの一つです。くちびるは、顔や体をおおっている皮ふの一部ではなく、口の内側にあるねんまくなのです。

このねんまが次第に外に出てきたもので、もともとひじょうにうすく、色素も少ないのです。このため、血管を流れる血の色がすけて見えるため、くちびるが赤く見えるのです。

くちびるが青く見えるとき^{あお み}

冬の寒い日、戸外に長くいるとき、あるいは、心身に何かショックを感じたりしたときくちびるが青くなります。

くちびるが青く見えるのは、細い動脈が交感神経のはたらきで縮み、毛細血管に流れこむ血液の量が少なくなるためです。（監修 保志 宏）

